

受水槽等清掃業務実施要領

この実施要領は、受水槽等清掃業務の概要を示すものであって、現場の状況に応じ、ここに記載されていない細部の事項についても誠意をもって行うものとする。

1 対象設備及び清掃回数

名称	容積	台数	点検周期
本館受水槽	66m ³	1 基	年 1 回
本館高置水槽	15m ³	1 基	年 1 回
新館受水槽	37m ³	1 基	年 1 回
医観法受水槽	8m ³	1 基	年 1 回
看護宿舍受水槽	8m ³	1 基	年 1 回
医師公舎受水槽	4m ³	1 基	年 1 回

2 作業方法

- (1) 作業現場ごとに、作業衣・作業器具等は清潔なもので行うこと。
- (2) 清掃前に受水槽内の残留塩素を測定する。
- (3) 水槽内の水を排水し、沈殿物、付着物を除去し槽内全体を水洗いする。
- (4) 水槽内の亀裂の有無、ポンプ、止水弁等の点検をし、不良部分は整備を行う。
- (5) 清掃終了後、次亜塩素酸ソーダ溶液を薄めたもので消毒する。
- (6) 消毒後残水は完全に除去する。
- (7) 水槽内の水張り終了後、ポンプ等の動作試験、残留塩素測定を行う。

3 実施計画及び実施報告

受託者は、業務に関する実施計画を策定したときは、委託者に通知すること。また、業務を実施したときは、速やかに委託者に写真を添えて報告書を提出すること。

4 負担区分

- (1) この業務に使用する清掃に要する機械器具、材料及び消耗品、ならびに水道法第 34 条の二第 2 項に定める県の指定した検査機関が行う簡易水道の検査手数料は、受託者の負担とする。
- (2) この業務に使用する水及び電気は委託者の負担とする。